

令和3年度 西部地区特別支援教育における専門性向上のための研修等について

西部教育局特別支援教育担当

「見取りの方法」や「支援の引き出し」を増やしましょう！



【特別支援学級新担任研修】

6月8日、7月2日（教育センター職務研修）

【西部地区特別支援教育連携協議会】

11月中（局主催）県立特別支援学校について
 （鳥取盲学校、鳥取聾学校ひまわり分校、皆生養護学校、米子養護学校、
 琴の浦高等特別支援学校のコーディネーターと連携して実施）



子供たちの力を
最大限に伸ばす

【LD等専門員巡回相談・依頼相談】

巡回…年間2回実施 依頼…随時
 一次支援の充実に向けた助言
 校内支援体制の更なる充実に向けた助言

【新任特別支援教育主任研修】

5月13日（教育センター職務研修）

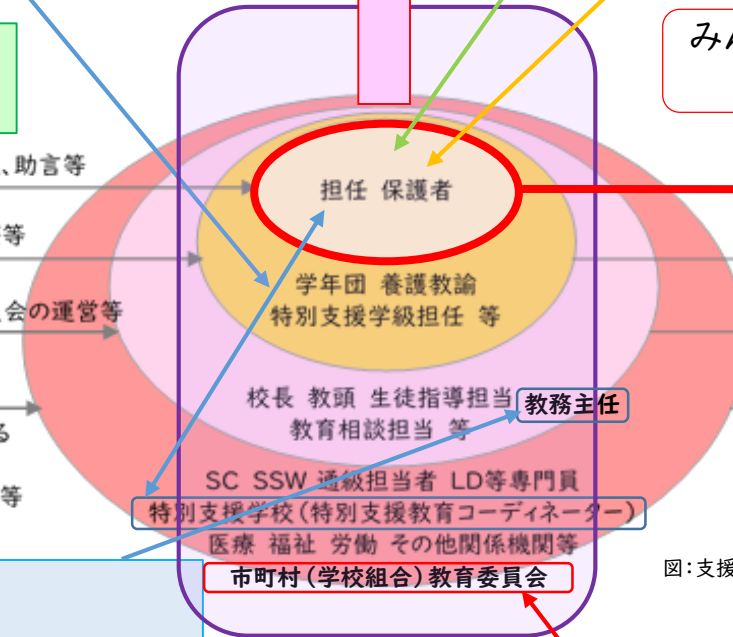
みんなが「わかる」「できる」と感じることがで
 ける教室環境とは？ 学習支援とは？

子供たちのために、
 私たちが「できること」、
 「しなければならないこと」を
 『チーム西部』で考え、
 確実に実行していきましょう！



特別支援教育主任（担当）

情報収集、助言等
 連絡調整等
 校内委員会の運営等
 必要とする
 機関との
 連絡調整等



<連携レベル>

- 学級** ← 一次支援の充実
- 関係教職員 ← 二次支援
- 校内委員会 ← 三次支援
- 校外の関係機関 ← 四次支援

【教務主任等研修会】（局主催）

3グループに分けて開催

- ①米子市の小学校（23校）
- ②米子市以外の小学校（22校）
- ③中学校（24校）

第1回 特別支援学級の教育課程と教科用図書について

- ①7月26日 ②7月27日 ③8月4日

第2回 個別の指導計画の作成と活用について

- ①12月6日 ②12月7日 ③12月8日

【西部地区市町村（学校組合）教育委員会 特別支援教育担当者情報交換会】

4月23日、8月3日、12月17日（局主催）

【特別支援教育よろず相談会】

年間20コマ開催（局主催）

図：支援の広がり「特別支援教育の手引き 鳥取県教育委員会 令和2年3月」より
 ※4月中旬に各学校にお届けする予定です。

特別支援学級における諸帳簿等について

令和3年3月 西部教育局

□指導要録（特に「指導に関する記録について」）

➤A様式（いわゆる数値評価）かB様式（いわゆる記述式評価）かを確認してください。

□A様式…小学校又は中学校に準ずる教育がほぼ可能である児童生徒の場合（下学年適用も含む）

※下学年適用の場合 → 「総合所見及び指導上参考となる諸事項」の欄にその旨を記載しておきます。
→ 適用した学年の評価に基づいて評価を付けます。

□B様式…特別支援学校（知的障がい）の教科等を取り入れ、各教科等を合わせた指導を導入して教育を行う（知的障がいのある）児童生徒の場合

【参考通知等】

- ◇「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」
平成31年3月29日付 30文科初第1845号 文部科学省初等中等教育局長通知
- ◇「小学校、中学校及び義務教育学校特別支援学級指導要録について（通知）」
令和2年3月26日付 第201900338485号 鳥取県教育委員会教育長通知
- ◇「特別支援教育の手引」 令和2年3月 鳥取県教育委員会
- ◇西部教育局からのお役立ち情報「特別支援教育ほっと通信 指導要録の様式」 令和3年2月 西部教育局



□出席簿

□児童生徒名簿

□就学支援関係書類

- 各市または西部町村就学支援委員会の審査資料（観察票、個人調査票、診断書 ←いわゆる3点セット）
- 保護者の入級承諾書
- 各市または西部町村就学支援委員会の審査結果
- 各市町村（学校組合）教育委員会の決定通知
- 校内就学支援委員会の記録
- ・個別のファイルに綴じて、過去の記録がすぐに確認できるようにしておきましょう。

□個別の教育支援計画

➤必ず作成してください。

・学校生活だけでなく家庭生活や地域での生活を含め、長期的な視点で幼児期から学校卒業後までの一貫した支援を行うために作成します。

□自立活動の個別の指導計画

➤必ず作成してください。

・自立活動の内容は、児童生徒個々の実態に合わせて設定するため、個別の指導計画も個別に作成します。
・年間指導計画に支援方法と評価の欄を追加し、記入していく形式でもよいです。

□各教科等の個別の指導計画

➤必ず作成してください。

・年間指導計画に支援方法と評価の欄を追加し、記入していく形式でもよいです。

□各教科等の年間指導計画

➤必ず作成してください。

※単元名だけの題材配当表とは異なります。

・児童生徒が履修している各教科、領域等のすべてのものを作成します。

※自立活動の年間指導計画も必要です。

【当該学年に準じた学習の場合や下学年適用の場合】

・学習時期、単元名、目標、学習内容、評価規準等の欄を設けましょう。

【知的障がい特別支援学校の教育課程を選択する場合】

・学習時期、単元名、目標（付きたい力）、学習内容等の欄を設けましょう。

※各教科等を合わせた指導の形態（生活単元学習、作業学習など）を取り入れる場合も、その年間指導計画が必要となります。

※自立活動や各教科等を合わせた指導については、1年間を見通した計画はすぐには立てにくい場合があります。まずは、1学期分あるいは前期分を立てて、児童生徒の様子が変わってきてから、残りの計画を立てていく方法も有効です。

➤各教科で採択されている教科書名を記載してください。また、適切に教科書を給与するために、「教科書給与リスト」等を作成しましょう。

【参考通知等】

- ◇「特別支援学級における適切な教科書給与について（通知）」
平成30年10月31日付第201800209448号 鳥取県教育委員会事務局小中学校課長 特別支援教育課長
- ◇「特別支援教育の手引」 令和2年3月 鳥取県教育委員会

1つのファイルに綴った後、
インデックスを付けると活用しやすくなります。



障がいのある児童生徒等の指導

基本のチェックポイント13

令和3年3月 西部教育局

障がいのある児童生徒等の「分かる」「できる」を支える、基本の13のポイントをチェックしましょう。
 ※児童生徒等の実態に応じて、配慮の有無や程度は変わります。

		チェックポイント
接し方	<input type="checkbox"/>	児童生徒等のよいところや強みをたくさん見つけましょう。 児童生徒等のやる気、指導・支援のヒントにつながります。
	<input type="checkbox"/>	担任が、一番身近なモデルになりましょう。 児童生徒等は担任の話す言葉やふるまいを真似ることが大好きです。
	<input type="checkbox"/>	「なぜ」の視点で、児童生徒等の言動の背景を探りましょう。 言動のみを評価せず、その背景(障がいの状態や発達段階、前後の事象等)に目を向けます。
指導・支援	<input type="checkbox"/>	具体的な言葉で、一つずつ指示を伝えましょう。 「筆箱をもって、並んで図書室に行きましょう」 →「今から図書室に行きます」「筆箱を持ちましょう」「廊下に出席順に並びましょう」等。
	<input type="checkbox"/>	具体物、写真、文字等で補い、分かりやすく情報を伝えましょう。 例) 校外学習の行先の写真を提示する。口頭指示を板書する。
	<input type="checkbox"/>	1時間の授業のめあてと流れを明示しましょう。 児童生徒等に分かる言葉で、簡潔に示す配慮が必要です。
	<input type="checkbox"/>	活動の終わりはどこかを具体的に伝え、見通しをもたせましょう。 例) 「〇時〇分にはこの作業を終わります」「5枚封筒を作ったら終わりです」等。
	<input type="checkbox"/>	予定を提示するなど見通しをもたせ、自主性を高めましょう。 例) 月・週・1日の予定を示す。変更は口頭ではなく、板書して伝える。
	<input type="checkbox"/>	スモールステップの課題を準備し、成功体験を積みませましょう。 「分かった」「できた」を実感させ、学びの確実な定着と意欲の向上を図ります。
教室環境	<input type="checkbox"/>	片付けの場所や道具の置き場所を分かりやすく示しましょう。 例) ロッカーに道具の名前やイラストを貼る。
	<input type="checkbox"/>	場の構造化を図り、活動を分かりやすくする工夫をしましょう。 例) 教室をいくつかのエリアに分け、学習スペース、作業スペース、休憩スペース等を設ける。
	<input type="checkbox"/>	視覚的な刺激を整理し、集中しやすい環境を整えましょう。 例) 教室前面の掲示物を整理する。不要なものをカーテンで覆う。
	<input type="checkbox"/>	教室内外の音が集中の妨げとならないよう配慮しましょう。 例) 複数学年で同時に学習する際の他学年への指導の声、隣の教室の音等に配慮する。

◇障がい特性に応じて、それぞれ配慮が必要です。

⇒「西部地区特別支援学級 指導のチェックポイント 西部教育局 令和3年3月」参照

◇上記のチェックポイントを意識しながら、各教科等の指導や日頃の関わりに留意しましょう。

◇児童生徒等によっては複数の障がいを併せ有している場合もあるため、主たる障がいだけでなく、併せ有する障がいへの配慮にも心がけましょう。

「特別支援教育の手引 令和2年3月 鳥取県教育委員会」より(一部加工)

西部地区特別支援学級 指導のチェックポイント 令和3年3月 西部教育局

～西部地区の子供たちの力をさらに高めるために～

◇弱視者		
1	<input type="checkbox"/>	歩行等の妨げになる物を、床面や頭上に置かないようにしている。
2	<input type="checkbox"/>	机の角や突起物には、カバーをする等、安全面に留意している。
3	<input type="checkbox"/>	適切な採光を確保している。
4	<input type="checkbox"/>	ロッカーや必要な道具には、聴覚や触覚を活用できるように工夫している。
5	<input type="checkbox"/>	どのような状態が見えにくいかを理解し、対象物自体を拡大する等、一人一人の見え方に適した教材・教具や学習環境を準備している。 (例) 文字等を拡大する。見えやすい色を使う。境界や輪郭をはっきりさせる。等
6	<input type="checkbox"/>	資料等はあらかじめ渡し、読む時間等を確保している。
7	<input type="checkbox"/>	指示代名詞(「あれ」「それ」「あそこ」「そこ」等)を使わず、具体的に話している。
◇難聴者		
1	<input type="checkbox"/>	生活や学習場面で騒音を軽減する工夫をしている。(例) 椅子の脚へのテニスボールの使用 等
2	<input type="checkbox"/>	コミュニケーションの取り方を工夫している。(例) 筆談、身振り、手話、指文字 等
3	<input type="checkbox"/>	きこえの状態に応じた学習形態や集団活動を工夫している。
4	<input type="checkbox"/>	聴覚活用に配慮している。(例) 補聴器等の装用・管理、音や言葉をきき取る指導 等
5	<input type="checkbox"/>	教科指導の中でも、言葉の理解や定着を意識した指導を行っている。
6	<input type="checkbox"/>	話の内容が確実に伝わったか、確かめる方法を工夫している。
7	<input type="checkbox"/>	曖昧な表現は避け、できるだけ具体的な言葉で指示をしている。
8	<input type="checkbox"/>	話し手の口元が見えるような位置で、ゆっくりはっきりとした口調で話している。
9	<input type="checkbox"/>	絵や写真、具体物、身振り、文字等の視覚的な手がかりを組み合わせ、聴覚からの情報を補いながら指導している。
◇知的障がい者		
1	<input type="checkbox"/>	具体的な言葉で話したり、指示を1つずつ伝えたりすることで、「わかった」「できた」という気持ちをもたせる指導に心がけ、成功体験を積み重ねている。
2	<input type="checkbox"/>	ねらいを達成できるよう、スモールステップの指導に心がけている。
3	<input type="checkbox"/>	本人の理解やスピードに合わせて指導したり、課題や活動の量を調整したりしている。
4	<input type="checkbox"/>	見通しをもたせるために、わかりやすいヒントや教材・教具を用意している。
5	<input type="checkbox"/>	学年相応の言葉遣いや対応を行っている。
6	<input type="checkbox"/>	身辺自立や社会生活に必要な知識、技能及び態度が身に付くよう、生活に結び付いた実地的で具体的な学習を行っている。

◇肢体不自由者		
1	<input type="checkbox"/>	車椅子や歩行等での移動に障がいとなる物を置かないようにしている。
2	<input type="checkbox"/>	できる限り段差がない環境を整えている。
3	<input type="checkbox"/>	安定した姿勢が保持できるように、机や椅子の位置や高さ等に注意している。
4	<input type="checkbox"/>	経験不足を補うための実際的な体験活動を取り入れている。
5	<input type="checkbox"/>	指導の効果を高めるために、補助用具やコミュニケーション支援のための機器等を活用している。
6	<input type="checkbox"/>	自立活動の時間を中心に、身体の動きに関する指導を計画的に行っている。
◇病弱者及び身体虚弱者		
1	<input type="checkbox"/>	学力や学習空白、健康状態、心理状態等を考慮して、学習時間を設定している。
2	<input type="checkbox"/>	自分の病気に対する正しい知識や管理していく技能、意欲を育てるような指導が行われている。
3	<input type="checkbox"/>	学習活動、休憩等を効果的に使用できるように、畳やソフトマット等で作られたスペースを設けている。
4	<input type="checkbox"/>	経験の偏りが見られる場合が多いため、活動が負担過重にならないように注意しながら、直接的な体験を含んだ学習を取り入れている。
5	<input type="checkbox"/>	コンピューター等の情報機器を積極的に活用し、間接的な経験を含んだ学習を取り入れている。
◇自閉症・情緒障がい者		
1	<input type="checkbox"/>	刺激となるものを整理したり、場の構造化を図ったりして、集中しやすい環境を整えている。 (例) 教室の全面の掲示を減らす。本棚など気が散りやすい場所にカーテンをつける。等
2	<input type="checkbox"/>	片付けの場所や道具の置き場所をわかりやすく示している。 (例) 名前シールを貼る。片付け方の写真を貼る。等
3	<input type="checkbox"/>	1日の流れや活動の流れをスケジュールとして提示したり、作業の手順表を活用したりする等、見通しがもてるような工夫をしている。
4	<input type="checkbox"/>	「いつ終わるのか」「どこまですれば終わるのか」を示し、見通しをもたせている。
5	<input type="checkbox"/>	指示は、具体物を使ったり黒板に書いたりする等、視覚的な情報を合わせながら具体的に出している。
6	<input type="checkbox"/>	予定に変更がある場合は、混乱しないようにわかりやすい方法で早めに伝えている。
◇言語障がい者		
1	<input type="checkbox"/>	話す意欲を高め、主体的に学習に取り組むための工夫をしている。 (例) 自然な状況で話すことができる学習場面の設定、周囲の子供たちへの理解と啓発
2	<input type="checkbox"/>	子供の話し方等の小さな変化を見逃さず、ほめて認めている。
3	<input type="checkbox"/>	発音やリズム等の障がいの状況に応じた指導内容・方法を工夫している。 (例) 外部専門家(言語聴覚士・言語通級担当者・県立特支特別支援コーディネーター等)との連携
4	<input type="checkbox"/>	体験を通じた学習や遊びを取り入れたり、興味・関心をもって取り組める教材・教具等を工夫して、ことばの発達を促している。
5	<input type="checkbox"/>	保護者や教職員に配慮事項を丁寧に説明し、連携を図っている。

西部教育局ホームページ

検索 <http://www.pref.tottori.lg.jp/seibukyoiku/>

とっどりの授業改革【10の視点】

鳥取県の子どもたちが、さらに伸びていくための
とっどりの 授業改革【10の視点】

<p>知的好奇心の喚起</p> <p>① 魅力的な課題・教材の提示 調べたい、みんなで作ってみたい課題や教材を提示し、学習への見通しを持たせる</p> <p>② 体験的な学習の充実 これまで学んだことや日常生活とのつながりを意識させ、実物を用いたり、実験や作業、視覚覚教材を使用するなど体験的な学習を取り入れる</p>	<p>活用する力を育てる 言語活動と学習評価</p> <p>③ 資料の活用 問題解決に必要な資料を使って調べたり、考えたりする学習を設定する</p> <p>④ 思考の整理 調べたことやわかかったこと、問題の解き方や考え方をノートに書かせる</p> <p>⑤ 説明・発表の機会の充実 考え方や理由を筋道立てて説明する学習活動を設定する</p> <p>⑥ 学び合う活動の充実 ねらいをはっきりさせ、新しい考えを、みんなで生み出す活動を設定する</p>	<p>次につながる ふり返り</p> <p>⑦ 学習評価の推進 一人一人の学習状況や実現状況を把握し、個に応じた手立てや支援を行う</p> <p>⑧ 学習をふり返る活動の設定 「ふり返り」の時間を設定し、達成感・成就感を味わったり、次の学習の課題やポイントがつかめるよう工夫する</p> <p>⑨ 家庭学習と連動した学びの定着 学校で学んだことが家庭での復習や予習、自主的な学習につながるような支援に努める</p>
--	--	---

⑩ **落ち着いたのびのびと学べる環境づくり(学びの集団・人間関係づくり)**

旬な情報を発信しています。是非アクセスしてみてください。



鳥取県 Tottori Prefecture Web Site

テーマでさがす 県の紹介 新

現在の位置: ホーム > 県の組織と仕事 > 教育委員会

西部教育局

トッパページ

西部教育局のミッション
組織・事業分野
所在地・アクセス

西部教育局の取組み

西部のお役立ち情報
「さりとる西の窓」
学校経営・運営・校内
授業研究
生涯学習の推進

その他

臨時教職員募集
公立学校定数職員(臨時
的任用職員)の募集
について
近畿地区市町村教育委員
会及び学校一覧

西部教育局

西部教育局は、米子市・境港市・西伯郡・日野郡の各市町村教育委員会と連携しながら、学校教育の充実及び生涯学習の推進に取り組みます。

校内授業研究充実のためのポイント

西部教育局 西部地区の子どもたちの
よりよい成長のための
ポイント

もくじ

1 西部地区小・中・特別支援学校の校内授業研究の現状はどのようなですか

2 今、各校で授業研究の充実が求められているのですか

3 校内授業研究は、どのようにスタートしますか

4 校内授業研究にPDCAサイクルをどう生かしますか

5 校内授業研究において、教職員一人一人にどのようなことが求められますか

6, 7 授業研究会を共に学ぶためのポイントは、どのようにしたらよいですか

8 授業研究会の学びを日々の授業に生かすには、どのようにしたらよいですか

9 校内授業研究充実のためのポイント

【本校教員の紹介】

佐藤 美穂 担任 5月9日 (月) 15:00 - 16:00

名前 佐藤 美穂

所属 学校経営課/生涯学習課

出陣先 鳥取県立大学

校内授業研究は、どのようにスタートしますか

自然の現状を把握することが、授業研究の第一歩です。『データをもとに自然の現象や課題を明確にする』『自然観察による授業の現状把握を行うことにより、現状の課題や本校で解決したい課題を明確に共有することが、授業研究に意義を感じ、継続的な取り組みとする動機づけを生み出すのです。』

研究課題を見いだすための2つの作業

① 子どもの実態に即した率直な意見交換
校内授業研究は、子どもの実態から出発するということを知ることが、とりわけ学習面についての子どものよきと課題を具体的に把握することが大切です。また、なぜそのような課題が生じるのかといった背景の部分や、課題をどう克服していくのかといったことも明確にしておくことで、子どもたちの実態や課題がどこにあり、どう改善していくのかを明らかにしていくことが授業研究の第一歩を生み出すことにつながります。

② 日頃実施している授業の現状把握
子どもの実態の把握と、日頃実施している授業の現状を把握することは、子どもたちの実態に即した課題の把握や改善を行うことにつながるため、授業研究の第一歩であることが大切です。まずは、各自が丁寧に授業観察を経験したり、子どもへの授業アンケートを行ったりとすることで、課題を明らかにします。その結果を共有し、話し合うことで課題を共有し、みんなで学びを合わせ、ともに考え合ったり乗り越えるに繋がる研究課題づくりへとつなげていきます。

校内授業研究のスタート(例)

児童生徒の実態把握
日頃実施している授業の現状把握

課題の焦点化

目標・授業像の共有

研究計画の検討
(主題・役割・組織・評価計画)

毎月の授業研究に取り組んでいるのですが、何となく学校の授業研究の効果が感じられないように思っています。

授業研究の目的や目的意識を明確にし、研究の成果をどのようにして授業に生かすのかを明確に意識することが大切です。授業研究の目的や目的意識を明確にし、研究の成果をどのようにして授業に生かすのかを明確に意識することが大切です。授業研究の目的や目的意識を明確にし、研究の成果をどのようにして授業に生かすのかを明確に意識することが大切です。

とっどりの授業改革 10の視点

鳥取県の子どもたちが、さらに伸びていくための
とっどりの 授業改革【10の視点】

CLICK!!

リーフレット

校内授業研究 充実のためのポイント

特別支援学級における復習づくり

教育として大切にしたいこと

校内授業研究 充実のためのポイント

特別支援学級における復習づくり

教育として大切にしたいこと

CLICK!!

特別支援学級における復習づくりリーフレット(前中)

特別支援学級における復習づくりリーフレット(後中)

